

成徳小学校・灘手小学校統合準備委員会
様

成徳小学校・灘手小学校統合準備委員会灘手委員

解散要求提案書

1月17日に開催された倉吉市議会臨時会において統合後の新校名が決定したことを受けて、成徳小学校・灘手小学校統合準備委員会の役割は概ね終了したと判断するので、同委員会の解散を求める。

以下、その理由等を述べる。

1. 臨時市議会において、新校名が、統合準備委員会が教育委員会に提案した「打吹至誠小」ではなく、統合3校の現校名は付けないと、統合準備委員会が当初から合意をして検討を進めていたにも関わらず「成徳小」と決められたことは、足掛け3年にわたる統合準備委員会の議論が全部否定され、「統合準備委員会には任せられない」といったような意見と受け止め、本委員会の存在は不要であると考えます。

2. 統合準備委員会の各部会は、それぞれの役目を概ね終了している。

総務部会は、所管事項のうちの「校名」は市議会が決定。「校章、校歌」は、その作成を教育委員会にお任せしており、すでにほぼ完成に近づいているので、さらなる検討はそれほど必要もなく、教育委員会において決定していただければ良い。

P T A組織部会の所管事項は、大詰めにきており、総務部会の所管事項であるスクールバスの運行等の決定を含め、最終的な協議を同部会から両校のP T Aに引き継げば良いと考えます。

最後にお願ひがある。

子どもたちは、「この春から新しい学校に行ける」「新しい友達も出来る」と夢を膨らませていたものを、「もうどうでもいい」「学校に行きたくない」と言うような子どもが出てきた。また、住民の誹謗中傷も生まれるなど、私たち大人は、今回の騒動で当事者である子どもたちの心に深く傷を付けたことに、どう説明していけば良いのか...

倉吉市教育委員会は今回の一連の経緯を重く受け止め、来たるべき明倫小との統合に向けて、期限を決め新校名等について協議する場を設け、誰もが納得して受け入れられる校名となるようにすることが教育委員会の責務であると考えます。このことについて、統合準備委員会委員として最後のお願いをしたい、子どもたちの幸せのために。